

立場らびっと保育園における平成29年度 自己評価

作成日:2018年3月12日 作成者:関根美恵子

	評価項目	総評(意見・改善策)
保育計画に関する評価	保育目標について	目標については子どもの発達や興味、季節にあった保育計画を、柔軟性を持って設定していくことに心がけた。保育目標に基づいたねらいや活動については日々の保育の中で職員同士で連携しながら進め、クラスごとだけでなく少人数の良さを活かし、個々の発達にあわせた活動ができるようにした。目標を全体で共有し、活動を考えていくことが難しいのが前年からの課題であったが、今年度もなかなか活動に意味をもたせることがまだできずにいるので、ミーティングやクラスでの話し合いを多くとれる環境を築いていく必要があると思う。
	保育について	安全面についてはヒヤリハットを使用しながら保護者との内容などこまめに伝達、記録するようにしていきながら、改善策をすぐに話し合うようにしていった。危機管理能力を職員全体に持ってもらうように月2回、チェック表をつけながら確認しているが、研修などをさらに行い、今後も能力の向上に努めていく。可能な限り、散歩や戸外遊びをおこない、リトミックも引き続き月に2回おこない、身体を動かすことを意識して活動にとりいれている。食育にも、力をいれ栄養士、保育士とのそれぞれの専門的な知識のもと、生きる上での「食」の大切さを保護者、子どもに伝えていっている。
	行事について	年間の行事は、数を多く行うことができなかったが、前年の行事をさらに工夫し試食会、運動会、野菜堀り、親睦会など親子一緒に交流できる行事を年間を通しておこなっていった。季節の行事、食育を毎月取り入れていく中、もう少し内容を濃い物にして企画できるようにしていきたい。子どもの成長を保護者、保育士と一緒に感じられる保育園を今後も目指していく。
保育計画を支える諸条件に関する評価	分掌・体制	係や仕事の分掌は、現場の職員の意見や評価・反省を取り入れて協力して行えたと思う。各クラス担任の負担軽減や保育にかかわる仕事に余裕を持って柔軟に取り組めるよう全体のバランスを考え、見直しを都度行っていく、今後もより良い環境を作っていく。オープンして2年間の中で、必要なことを職員の「マニュアル」をつくり、保育の質の維持、向上にいかせてくようにした。
	運営	組織の業務の流れがまとまりつつあり、機能していった1年だったと思う。役職会議を毎週行い、話し合うことで状況を報告しあいながら運営面、保育面を整えていった。全体会議・給食会議・給食と保育士会議も効率的に実施し、全職員に記録内容を回覧し早く周知に努めていくことで、全職員が同じ考えの元に業務に就くことができるようになったと思う。「マニュアル」を作成することで、担当、職員の入れ替わりがあっても今の状態を維持、常に改善してより良い運営をできるようにしていくことが課題となる。
	年齢別・クラス運営	各クラスの運営も担任と非常勤の職員の担当、役割をかためて連携をとるようにしてきたことで、まとまりが出てきた。まだ、保育に携わっている保育士たちが自分たちで話し合いの場を定期的にもったり、それを全体に周知することができていないので引き続き指導していく。来年度は保育の計画にもより、細かい指導をいれていながら活動の内容、配慮についても内容の濃い保育にしていけるようにする。今後も経験の浅い職員のクラス運営に関しては、副主任がついたり管理者が指導しながら研鑽を深めていく。
	保健・安全指導	保育士・栄養士などすべての保育者がそれぞれの専門性を発揮しながら、子ども達に分りやすい言葉で健康・安全の指導を行っている。保健日誌に毎日の健康状態を記録していくことにより長期的な子どもの健康状態を把握することができた。今後も安全点検や、嘔吐処理、健康管理についても全員に習得が必要であり、学ぶ大切さを伝えていく。感染症発生時には保護者に対して迅速に情報提供し拡散拡大防止に努めた。市の健診情報なども提示して啓発を行っている。また防災時のマニュアルチャートを添付し避難訓練、AED、防災研修などを行い、安全な環境づくりの改善や職員間の情報共有を引き続き行っていきたい。
	園内外研究・研修	研修については積極的に園外研修には参加し、園内研修については園の運営に関する基本的な研修に加え、後半は研修報告会や衛生面の研修を設けていった。今年度の後半から、園内研修とし嘔吐処理、研修報告会を月末にひらき、研修に参加しなかった職員にも内容を広めていけるようにした。そこから、クラスの中で自主的に保育に取り入れられるように指導していきたい。
	情報について	各帳簿・書類等が適切に保管・処理・管理されているか施錠の確認を毎日行い管理している。法令遵守については、園の玄関の目につきやすい場所に、職員と保護者にわかりやすく掲示している。
	施設・設備	保育室内外の設備に関しては、毎日の点検、補修を行いながら、環境の整備に努めた。2年経ち、ネジのゆるみ、保育室備品等の破損部分も見られてきているので、毎日の点検を全員で気を付けていく。
	施設間交流連携	時期や回数を検討しながら、いづみ幼稚園、エンゼルおおぞら保育園との交流を定期的におこなう。エンゼルおおぞら園とは、夏の水遊び以外、あまり遊ぶ機会を設けることができなかった。また、後半には近隣のいくつかの小規模保育園との交流会も行い、保育士同士、こどもたちも良い刺激をうけていける良い機会だと思うので引き続き、今後も交流を続けていきたい。
	家庭・地域との連帯	給食の試食会や個人面談、親睦会など園との信頼関係を深め、理解に繋げられよう努力している。風通しのよい保育園をめざし、親子で参加できる行事を今後もできるだけ増やしていきたい。また、近隣の施設で栽培された野菜の収穫に参加したり、パン屋さんからパンの購入をしたりと地域との連携を深めていかれたと思う。
情報発信	ホームページの内容は見直しを行いながら更新し、園便り、給食便りなどを毎月配布し、園の理念・方針・目標を毎月周知し共有している。また、写真の販売、行事の様子をHP上で閲覧できるようにし、保育園の生活が保護者や、園に関心のある方によくわかるように情報の発信に努めている。	
給食関係	衛生管理について	それぞれの項目に従い、毎月・月1回の衛生管理点検、毎日の衛生管理・清掃チェックに努めている。室内の湿度が高いことが多くみられたので、空気清浄器、除湿器、室内の扇風機を設置し換気やカビの発生や害虫発生に気を付けていった。
	調理内容について	献立の内容や食の安全性を考慮して調理に当たり、保温状態に気を付けて子ども達に適温での提供を心掛けている。毎月の給食会議でのメニューの見直し、改善や新メニューの取り入れなど話し合い、工夫を行っている。月1回の保育士と栄養士の話し合いをもうけ、月齢、個々の発達状態に合わせた細かい離乳食の対応を共有し成長にあった調理や味付けをすること、楽しい食育を毎月取り入れる工夫をすることで食べる意欲につながっている。保育園の人気メニューを保護者に案内したり、給食だよりの他にいろいろな情報提供に努めて家庭での食にもアドバイスをしていった。
	食育について	飾りつけデザート、クッキングなど毎回バリエーション豊かに適切に行っている。調理の食育以外に季節の野菜、果物を実際にふれたり、スーパーに買いに行くことなども多くとりいれていった。クラス担当制にすることで保育士と話し合い打ち合わせを密にすることで楽しい食育に繋がっている。毎月の給食の中に季節を感じられる食材を取り入れたり、飾りつけ、彩りなどを工夫している。
	健康管理について	毎月1回給食便りを発行し、体調管理に役立つ情報やメニューの紹介を行っている。子どもの健康管理については、毎月の身長体重を栄養計算にいれて考慮している。また、保健日誌に細かい情報を記入し全職員が全クラス・全園児の健康状態の情報を共有して毎日の保育にこまかく対応している。アレルギーマニュアルや感染症の適切な対応も保育士への指導に努めている。感染症が発生した際、掲示板に発生状況を随時に知らせ、発生の拡大予防や嘔吐物等の処理の仕方の研修も行っている。
事務	事務管理について	事務処理を迅速に処理すること、データの保存、整理に努め、園で使用するすべての書類をわかりやすく見やすい物に変更した。また、保護者対応や保育の援助をすることで全体の園の把握に努